



個人投資家の皆さまへ

住友金属鉱山株式会社 IRセミナー

2025.12.20

銘柄略称 : 住友鉱 (東証プライム)

銘柄コード : 5713



MINING THE FUTURE

住友金属鉱山を知る 5つのキーワード

1

430年以上の歴史

住友グループの源流事業を
受け継ぐ会社

2

非鉄金属は 日常生活と経済発展に 必要不可欠

3

資源 × 製錬 × 材料 シン・3事業連携

製錬事業を軸に、3事業が連携して持続可能なサプライチェーンを構築し、
サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラル社会の実現に貢献

4

「世界の非鉄リーダー」 を目指す

当社グループの成長だけでなく、
社会の発展や人々の暮らしに貢献

5

配当性向原則35%以上 下限はDOE2.5%

健全な財務体質を維持しつつ、
株主還元を強化・充実

I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

中長期の成長戦略

V

業績・株主還元

I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

中長期の成長戦略

V

業績・株主還元

数字で見る住友金属鉱山

売上高

1兆5,540億円

(連結/2025年度予想)

税引前利益

1,210億円

(連結/2025年度予想)

創業

1590年

日本の上場企業で
2番目に長い歴史

従業員数

7,402名

(連結/2025年3月末)

総資産

3.1兆円

(連結/2025年3月末)

自己資本比率

60.1%

(連結/2025年3月末)

時価総額

1兆4,910億円

(2025年12月1日時点)

3つのコア事業

鉱石から金属・高機能材料まで一貫生産

資源事業

資源開発、鉱石の採掘



菱刈鉱山

主要製品

金銀鉱、銅精鉱、電気銅、金等

製錬事業

鉱石から金属に製錬



東予工場

主要製品

電気銅、金、銀、電気ニッケル、
電気コバルト等

材料事業

最先端の高機能材料へ



電池材料

主要製品

電池材料、粉体材料、結晶材料、
パッケージ材料等

住友の源流事業である銅製錬、鉍山業を今に受け継ぐ

製錬

1590年（天正18年）創業

1500年

1600年

1700年

1800年



資源

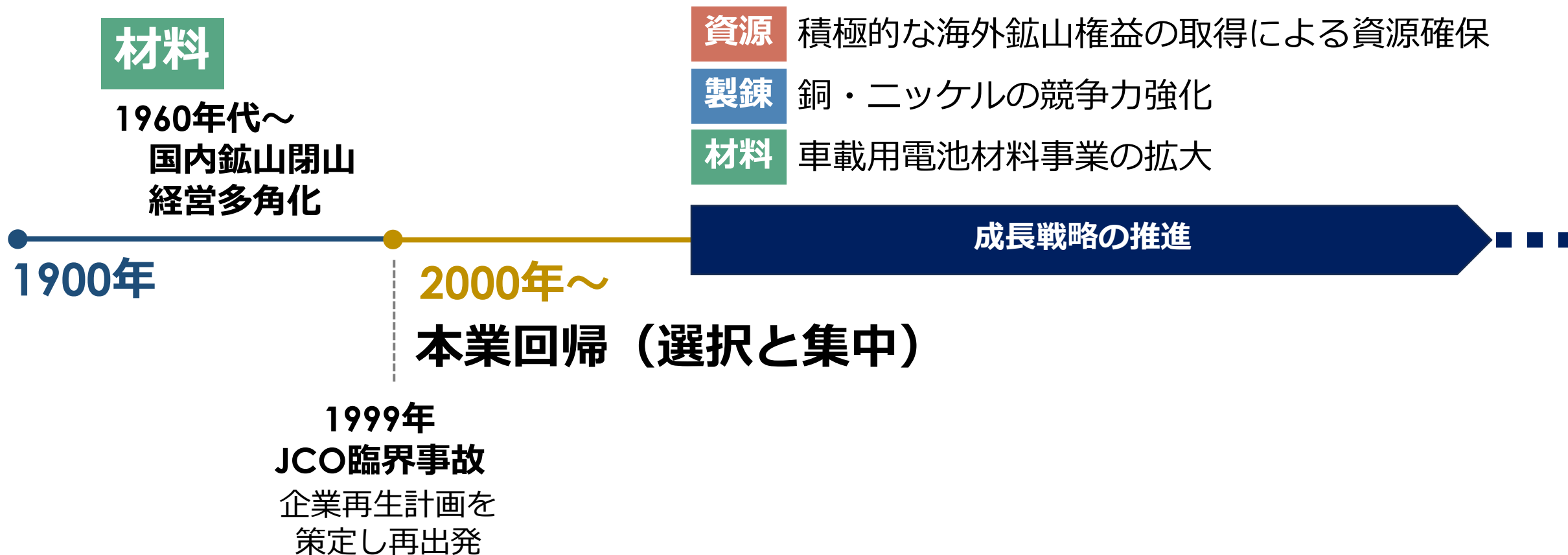
1691年 別子銅山の稼行開始

1973年の閉山までの283年間
住友が運営



画像提供：住友史料館

本業回帰以降、3つのコア事業に経営資源を集中し、成長戦略を推進



I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

中長期の成長戦略

V

業績・株主還元

住友金属鉱山が生産する非鉄金属

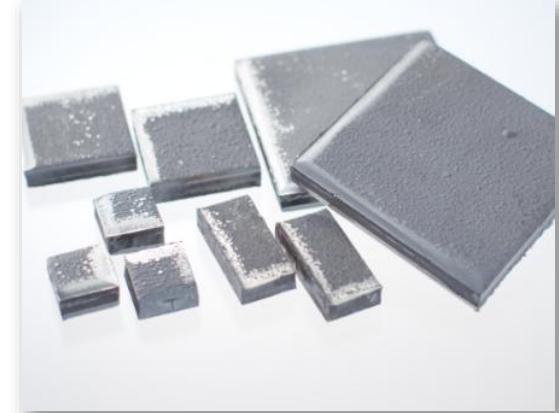
世界経済の発展に必要不可欠な金属



電気銅



金



電気ニッケル



硫酸ニッケル



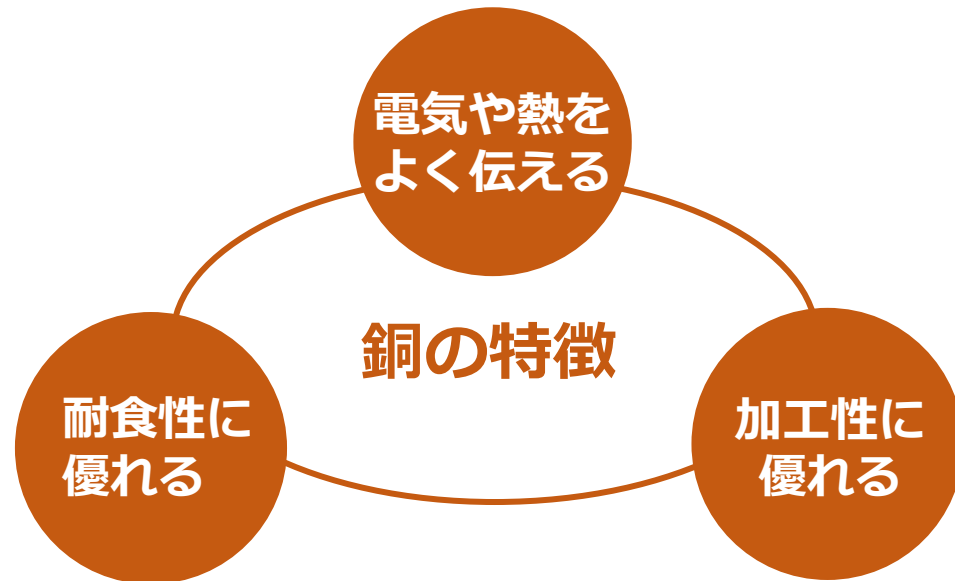
電気コバルト

“電気”銅、
“電気”ニッケル、
“電気”コバルトとは？

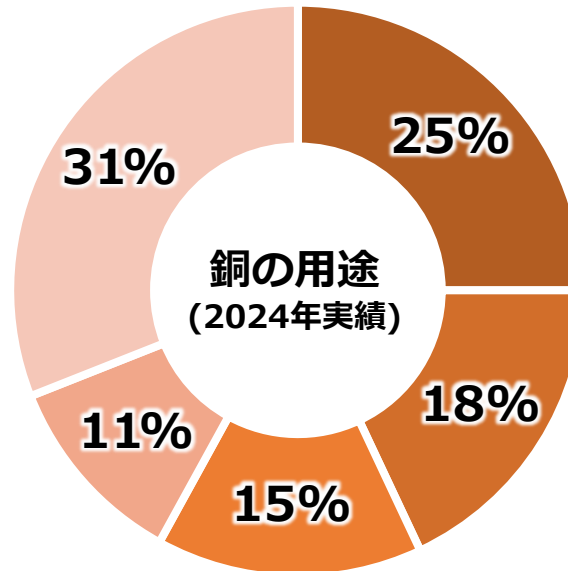
電気分解で精製された
純度の高い銅、ニッケル、
コバルトのこと。
純度は99.9%以上。

銅とは？

電気があるところには、ほぼ必ず使われている 銅



引き延ばされて
銅線に



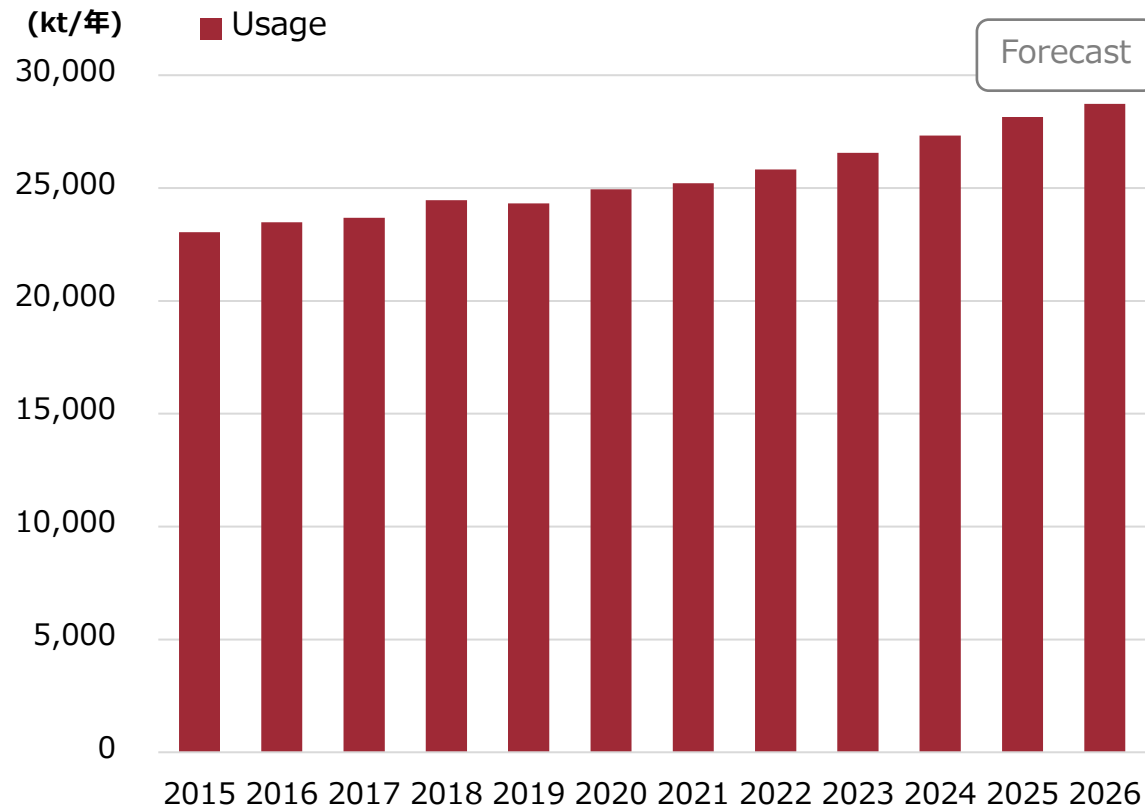
- 建築物
(水・ガス配管、屋根、室内装飾、配電線等)
- インフラ
(送電線、通信線)
- 産業
(変圧器、モーター、プラント機器等)
- 輸送
(自動車、鉄道、船舶等)
- その他

出典：The International Wrought Copper Council (IWCC)
and the International Copper Association (ICA)

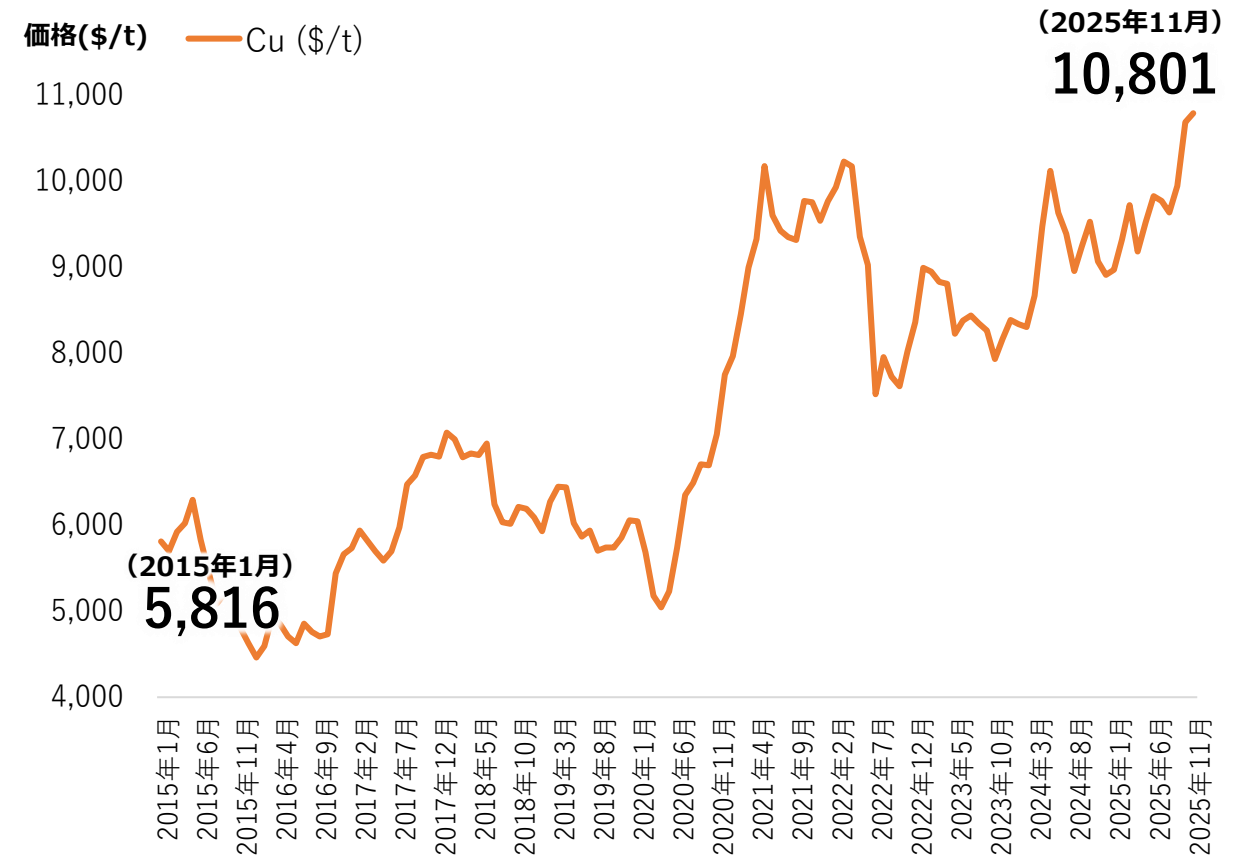
銅：需要動向と価格推移

銅の需要は堅調に推移、価格も上昇

需要動向※1 (2015年～)



価格推移※2 (2015年～)



※1 出典：International Copper Study Group「Release of ICSG 2024 Statistical Yearbook」(2024年12月16日) 2015～2023
International Copper Study Group「ICSG Copper Market Forecast 2025-2026」(2025年10月8日) 2024～2026

※2 月平均、当社調べ

から当社が作成

金価格は上昇が続いている

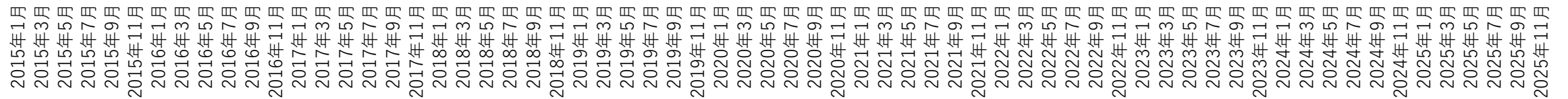
価格推移※ (2015年～)

価格(\$/toz) — Au(\$/toz)

4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000

(2015年1月)

1,251



(2025年11月)

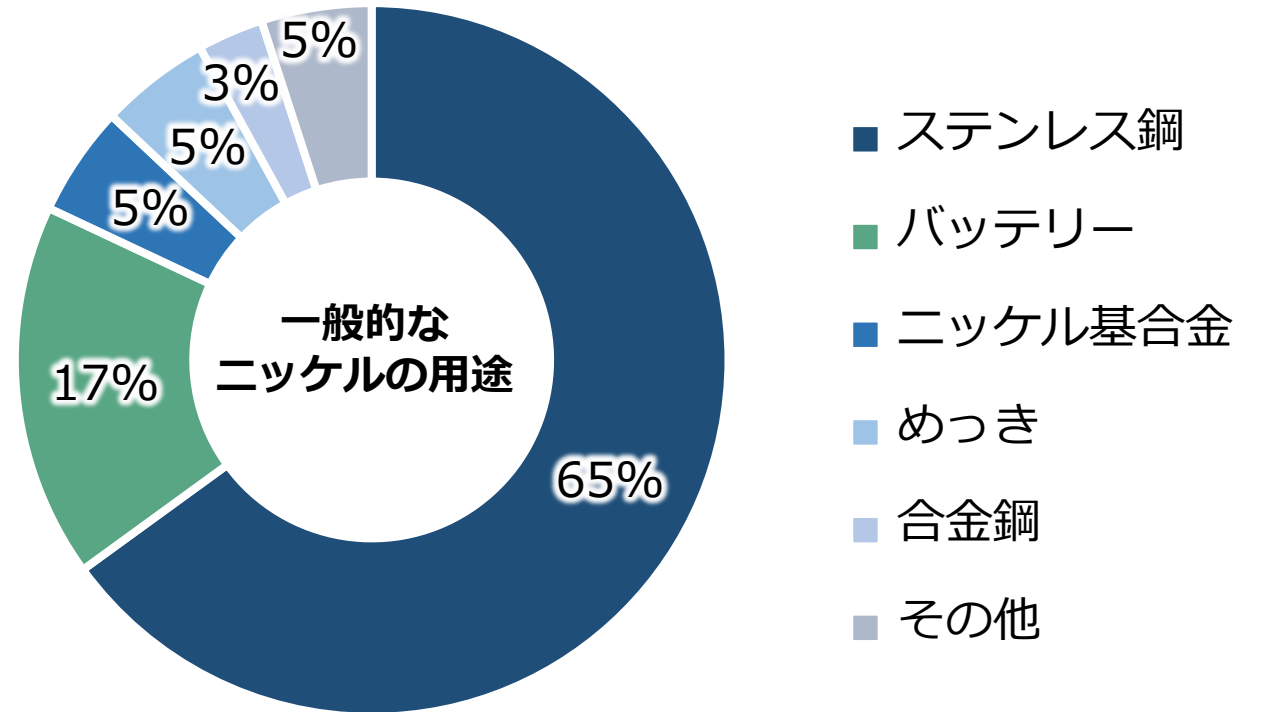
4,084

※ 月平均、当社調べ

ニッケルとは？

耐食性に優れる ニッケル

ニッケルの用途



出典：ニッケル協会（Nickel Institute）/SMR – Steel & Metals Market Research GmbH（2025年7月16日） から当社が作成

I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

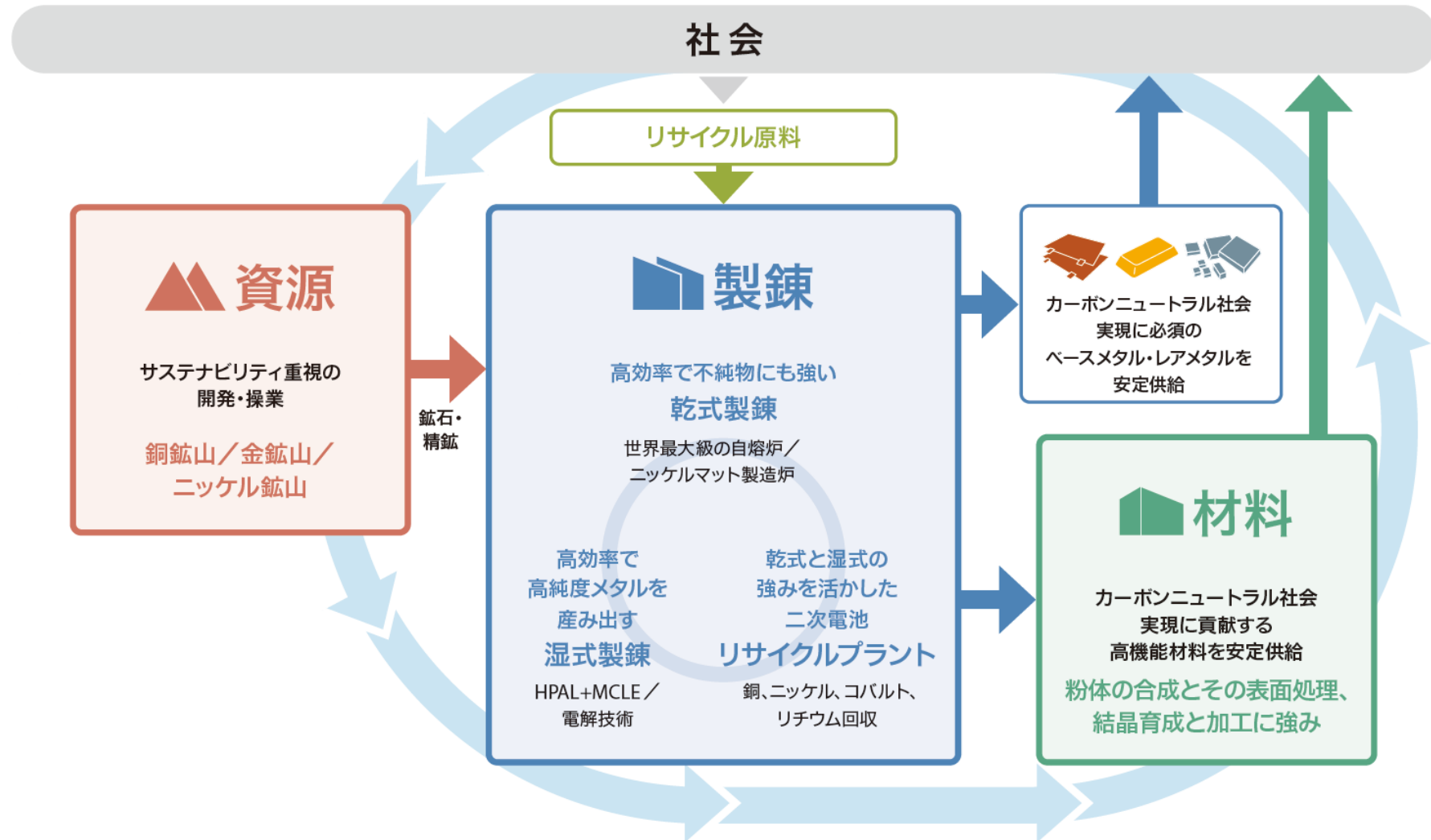
中長期の成長戦略

V

業績・株主還元

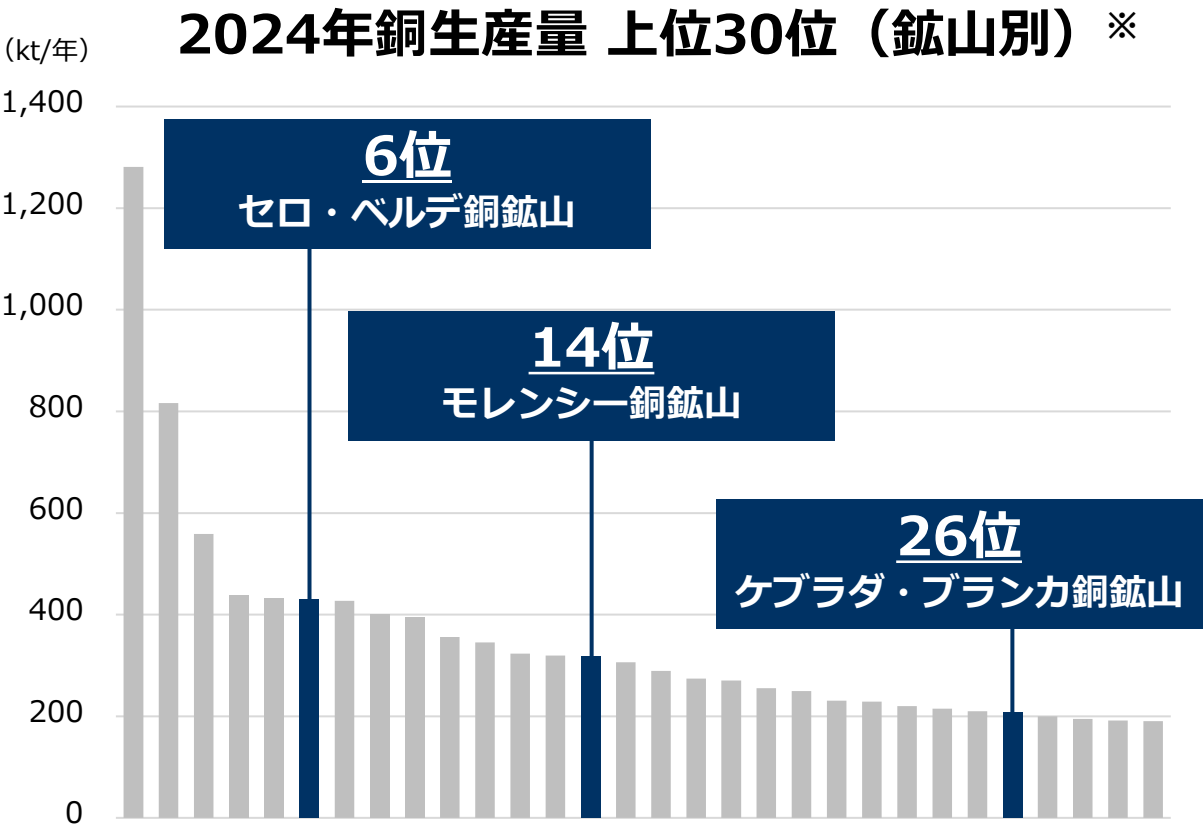
シン・3 事業連携のビジネスモデル

製錬事業を軸に、3事業が連携して持続可能なサプライチェーンを構築し、
サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラル社会の実現に貢献



強み

- 北米・南米・オーストラリアに6つの銅鉱山の権益を保有、このうち3つの銅鉱山は世界トップレベルの生産量
- 高いコスト競争力、豊富な資源量、経験豊富なオペレーターとの良好な関係



※当社調べ、生産量は100%ベース

セロ・ベルデ銅鉱山（ペルー）



権益比率	FCX	55.08%	住友商事	4.20%
	SMM	16.80%	その他	23.92%

モレンシー銅鉱山（米国）



権益比率	FCX	72%
	SMM	25%
	住友商事	3%

ケブラダ・ブランカ銅鉱山（チリ）



権益比率	Teck	60%	住友商事	5%
	SMM	25%	その他	10%

強み

- 菱刈鉱山は豊富な埋蔵量と世界トップレベルの高品位を誇る金鉱山
次世代の育成拠点としても活用。高い収益力で長期安定的に当社経営に貢献

菱刈鉱山（日本）

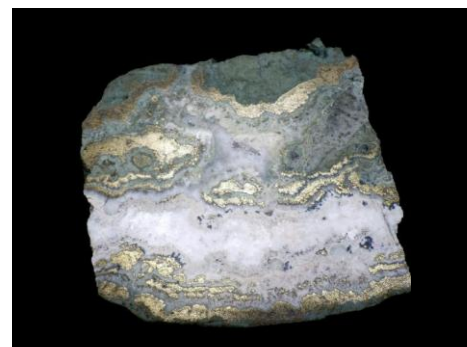


現在、日本で唯一、
商業規模で操業を
行っている金属鉱山

金生産量
3.5トン/年
(2025年11月時点の計画)

当社権益比率 **100%**

- ・ 所在地：鹿児島県伊佐市
- ・ 1985年開山



平均品位：約20グラム/トン

豊富な金埋蔵量：**154トン**
(2024年12月末時点)

※世界の主要金鉱山の平均品位は約3～5グラム/トン
とされている

資源事業② 金鉱山（2/2）

強み

- コテ金鉱山は豊富な資源量があり、隣接する地域でも多くの資源量が確認されている

コテ金鉱山（カナダ）



金生産量
11.5トン/年

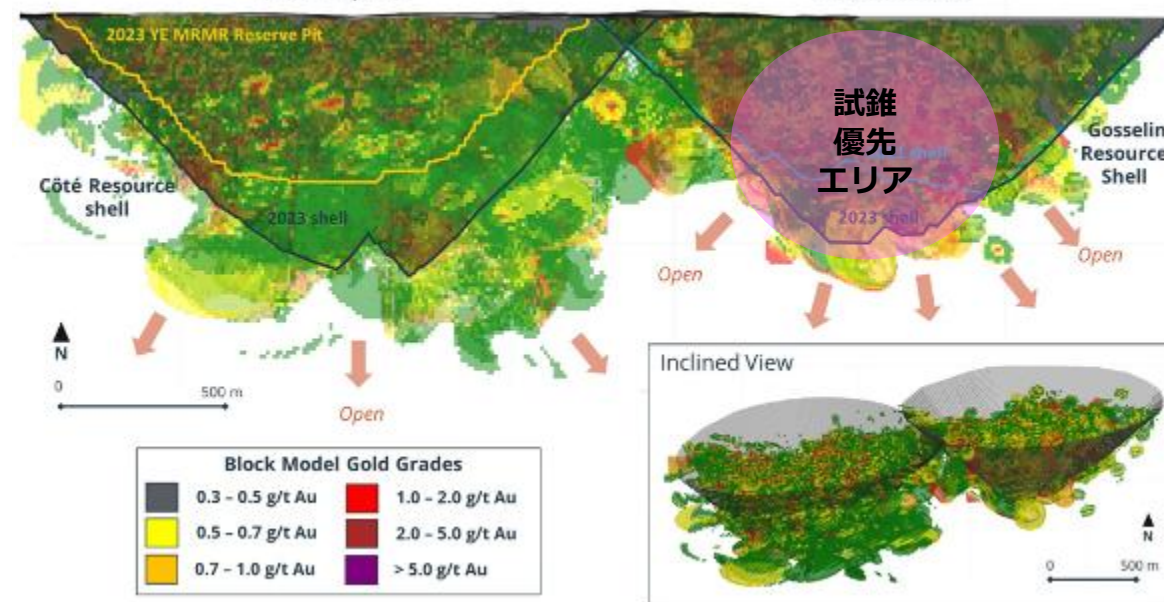
（生産量は100%ベース、
2025年11月時点の計画）

権益比率 IAMGOLD 70%
 SMM **30%**

2024年度より、本格的な操業を開始

コテ鉱床

ゴセリン鉱床



コテ金鉱山開発プロジェクトとゴセリン地区 探鉱情報
（2024年2月15日のIAMGOLD社公表に一部追記）

※2024年2月26日付 ニュースリリース参照

製錬事業① 銅製錬（1/2）

強み

- 貴金属/レアメタルの回収やリサイクル※など資源循環を担うサプライチェーンの要

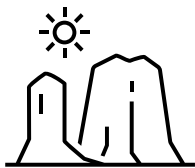


電気銅生産量：**42.8万トン/年**

（2025年11月時点の計画）

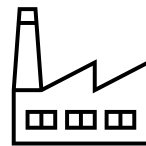
【※リサイクルの取り組み】

銅スクラップやE-スクラップ（電子機器類の廃基板）など、リサイクル原料からの有価物の回収も積極的に推進



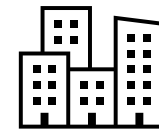
鉱山で掘り出される
鉱石の銅品位は1%以下。
これを濃縮して銅品位
20～30%の銅精鉱まで加工

銅鉱山



自熔炉、転炉、精製炉・ casting機、
電解工程を経て、銅品位
99.99%以上の電気銅まで加工

東予工場



銅品位99.99%の
高品質な電気銅を
電線メーカー様などに販売

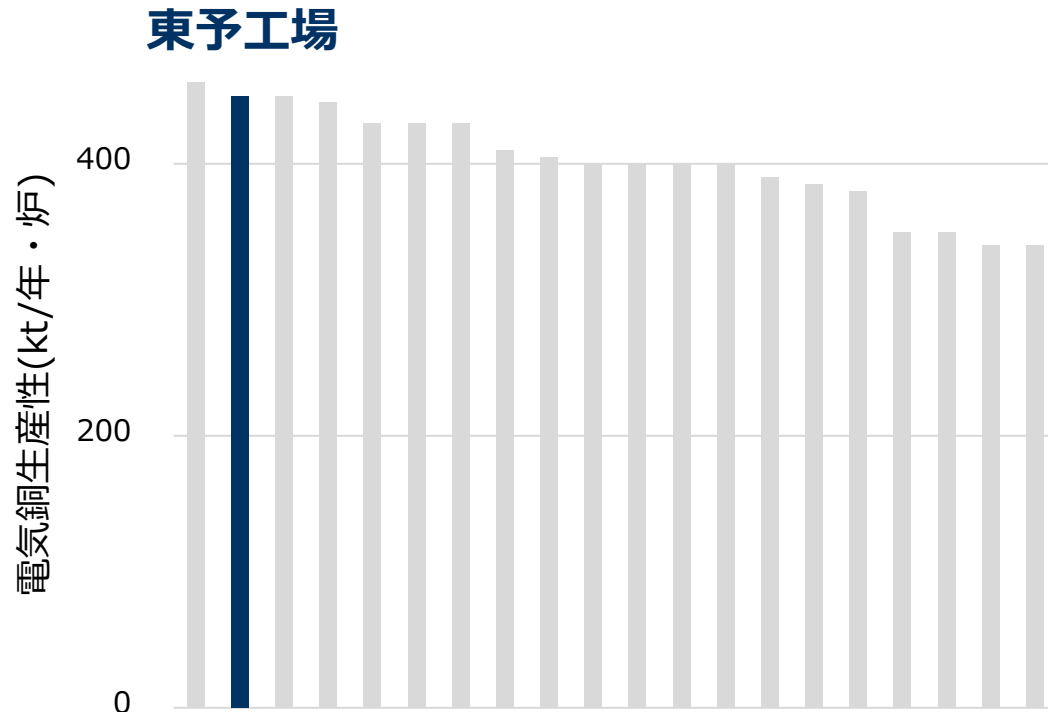
お客様

製錬事業① 銅製錬（2/2）

強み

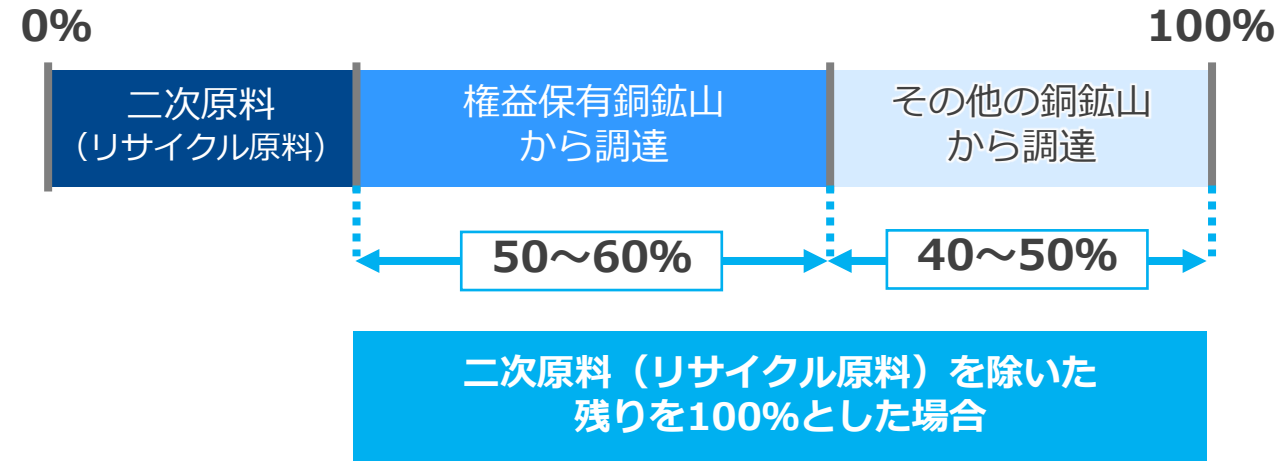
- 環境に配慮した効率の高い生産プロセスで高品質な銅地金を安定的に生産
- 長年の技術の積み上げによる高いコスト競争力
- 権益保有銅鉱山との連携による銅原料の安定調達

1炉あたりの電気銅生産性※



※当社調べ

使用銅原料の割合（イメージ）



製錬事業② ニッケル製錬

強み

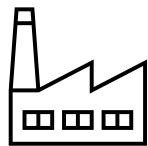
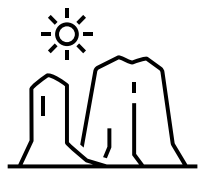
- 日本で唯一、電気ニッケル/電気コバルトを生産
- 生産性・コスト競争力の高いMCLE（マツト塩素浸出電解採取）法
- 世界に先駆け、High Pressure Acid Leach※（高圧硫酸浸出/HPAL）の実用化に成功



電気ニッケル生産量：**6.4万トン/年**（2025年11月時点の計画）

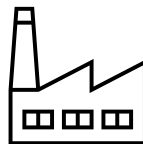
【※世界に先駆けて実用化に成功したHPAL技術】

- ・回収が難しいとされていた低品位ニッケル酸化鉱からニッケルを回収する技術
- ・限りある鉱物資源の活用貢献



品位約1%の低品位ニッケル酸化鉱を
HPALプラントでニッケル品位55%～
60%のMS（ミクスドサルファイド）に加工

ニッケル鉱山～ **HPALプラント**



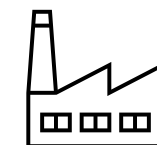
日本に運ばれてきたMSを生産性と
コスト競争力の高いMCLE法で
ニッケル品位99.9%以上の
電気ニッケル、電池材料の原料
になる硫酸ニッケルなどに加工

ニッケル工場



高品質な電気ニッケルを
ステンレス、特殊鋼メーカー様
などに販売

お客様



硫酸ニッケルなどは当社の
材料事業で活用し、
3事業連携の強みを発揮

当社材料事業

材料事業① 電池材料

強み

- 鉱石・製錬から電池材料まで一貫した自社ニッケルサプライチェーン
- 日系車載用電池メーカー様との強いつながり
- 材料事業の技術蓄積を活かした新製品や新プロセスの開発力

主要原料である硫酸ニッケルは当社製錬事業で製造

車載用電池向け
ニッケル系正極材



ニッケル酸リチウム



水酸化ニッケル

当社/電池材料事業

電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

日系車載用
電池メーカー様

自動車



電気自動車



ハイブリッド自動車



自動車の電動化など、
カーボンニュートラル
社会へ貢献

材料事業② 機能性材料

強み

- コア技術（粉体合成・表面処理、結晶育成・加工）を活かした製品供給
- 高機能材料によるカーボンニュートラル・高度情報通信分野への貢献
- 今後も成長が期待できる幅広い製品群を保有



コンデンサ向け
ペースト



通信機器向け
結晶材料



SOLAMENT®
(機能性インク)



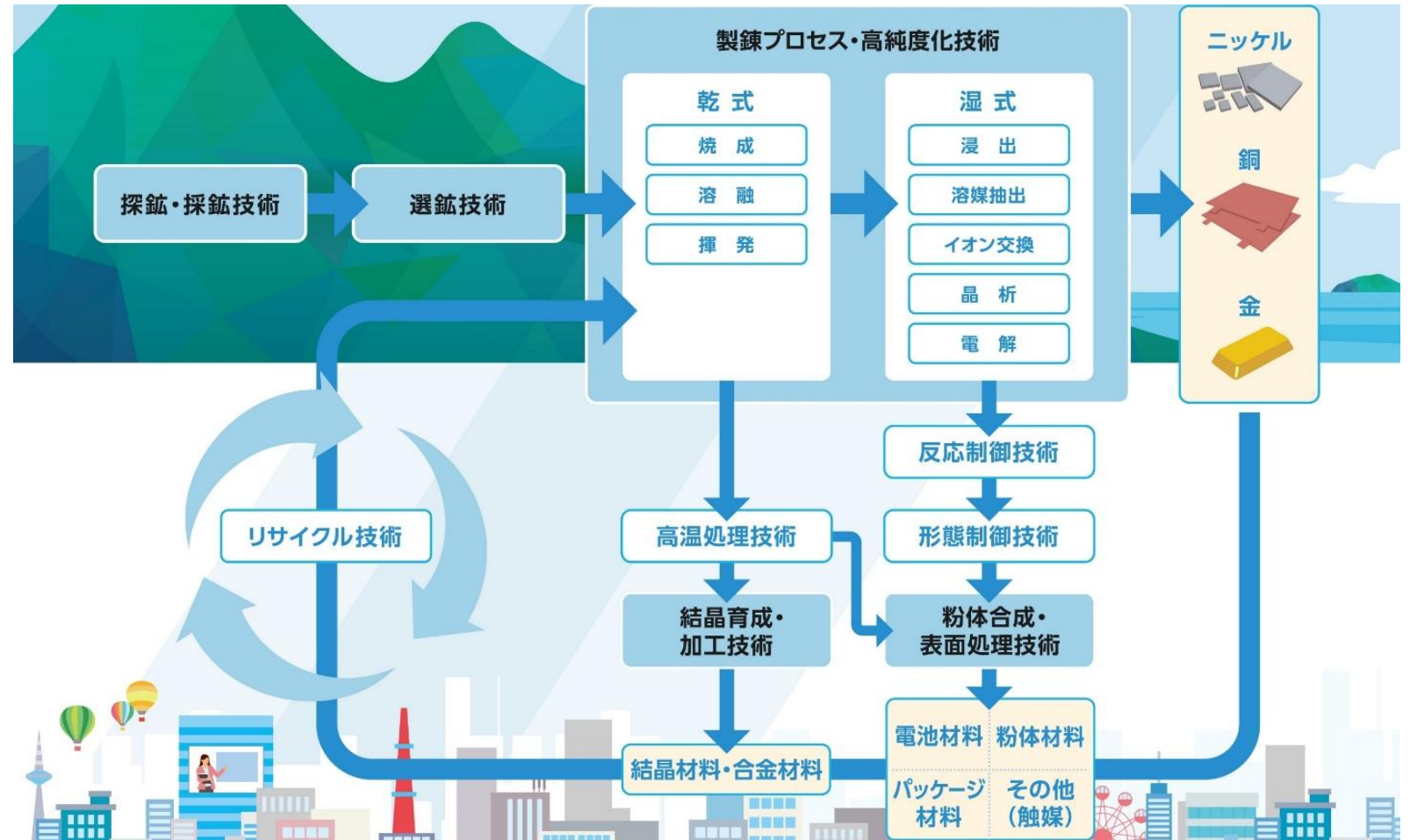
ファラデーローテータ

住友金属鉱山の技術の系譜

歴史の中で磨き上げられた技術力は、「資源」「製錬」「材料」の3つの事業を有機的に連携

【コア技術】

- ◆探鉱・採鉱技術
- ◆選鉱技術
- ◆製錬プロセス・高純度化技術
- ◆結晶育成・加工技術
- ◆粉体合成・表面処理技術



I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

中長期の成長戦略

V

業績・株主還元

住友金属鉱山の目指す姿

長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」とは

定義

- 資源権益やメタル生産量においてグローバルでの存在感がある
- 資源メジャーでも容易に模倣できない、卓越した技術や独自のビジネスモデルを有している
- 持続的成長を実現し、安定して一定規模の利益をあげている
- SDGs等の社会課題に積極的に取り組んでいる
- 従業員がいきいきと働いている

中計27に
注力

重要課題別
「2030年の
ありたい姿」
の実現

長期ビジョン
「世界の
非鉄リーダー」の
実現

企業価値向上

ガバナンス・コンプライアンス

住友の事業精神・SMMグループ経営理念・SMMグループ経営ビジョン

2025年10月にジョイントベンチャーを発足、Rio Tinto社と協働して フィージビリティースタディ（事業化調査）を推進

◆ プロジェクト概要

- ✓ 位置：豪州西オーストラリア州
- ✓ 権益構成：Rio Tinto社70% / 当社30%
- ✓ プロセス：露天掘りにて鉱石を採掘し、比重選鉱、浮遊選鉱を通して銅・金精鉱を製造
- ✓ 資源量：741百万トン（含有銅量3百万トン、金量250トン）

◆ 参入検討経緯

2024年12月：条件概要書合意、独占交渉を開始

2025年5月：権益30%取得につき契約合意



ウィヌ銅・金プロジェクト（提供：Rio Tinto社）

次世代技術への取り組みを加速

【全固体電池向け正極材(ニッケル系)の開発】

- ◆全固体電池は液系リチウムイオン電池に対し、小型化・高入出力・長寿命・安全性など次世代電池として期待される
- ◆量産化に向けてトヨタ自動車株式会社と共同開発契約を締結

【開発基盤の強化】

- ◆電池研究所 第2開発棟を竣工※
- ◆社内での正極材・電池セル評価体制を強化する

※2025年12月4日付けプレスリリースをご参照

<https://www.smm.co.jp/news/release/2025/12/002053.html>

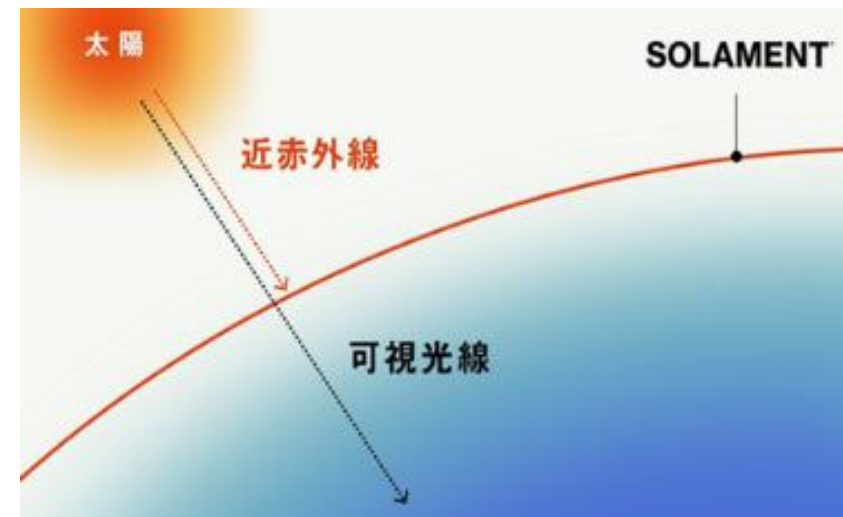


電池研究所 第2開発棟

太陽光などに含まれる近赤外線を吸収し、新しい価値に変える

【SOLAMENT®とは】

- ◆当社が開発した「近赤外線吸収ナノ微粒子CWO®」を元に創り上げられた素材
- ◆可視光を透過しながら、温度上昇の原因となる近赤外線を吸収し、熱に換える光熱変換材料
- ◆太陽光の近赤外線エネルギーを吸収するため、「暖かさへの変換」はもちろん、「涼しくする」「盗撮防止」といった様々な活用方法がある



【SOLAMENT®の展開領域】

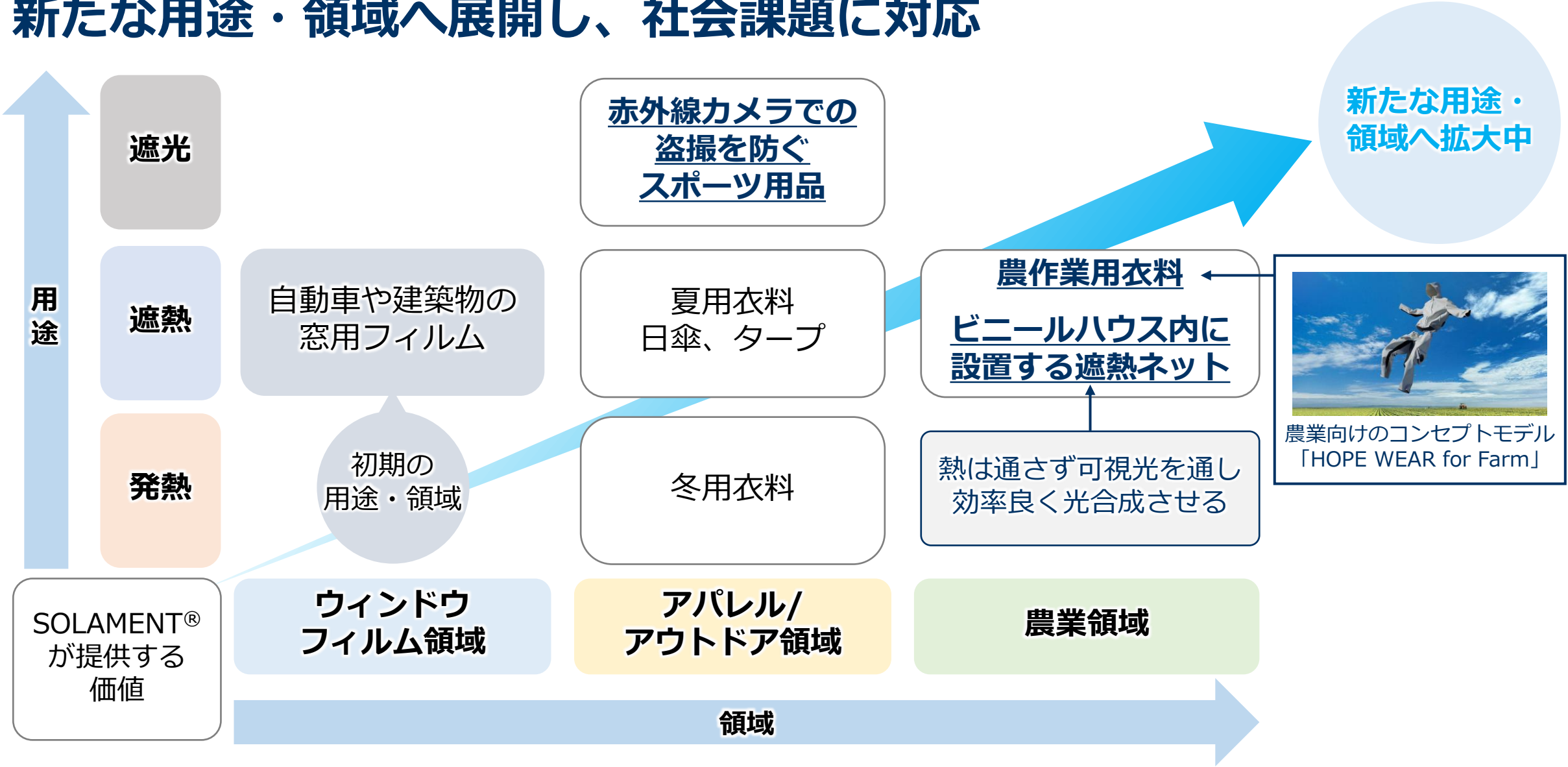
ウィンドウ
フィルム領域

アパレル/
アウトドア領域

農業領域

ほか

新たな用途・領域へ展開し、社会課題に対応

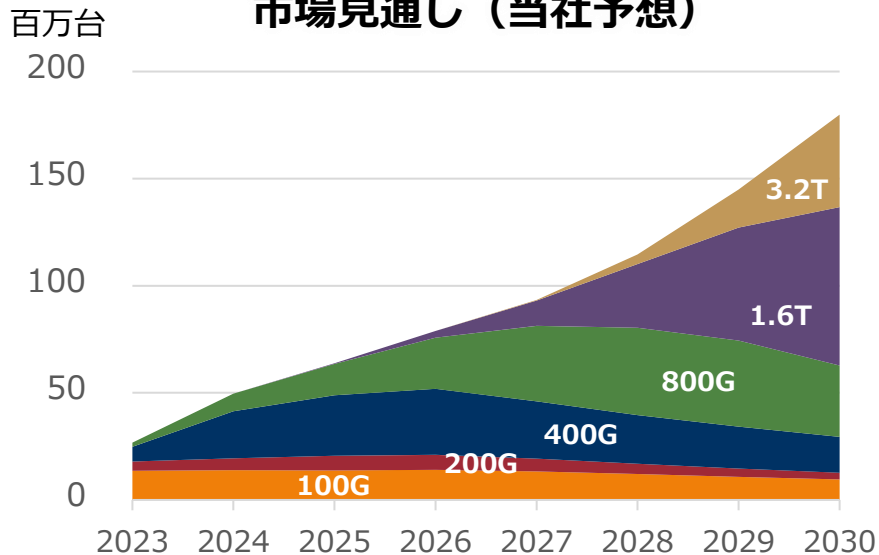


生成AIを中心とした高度情報通信社会へ貢献

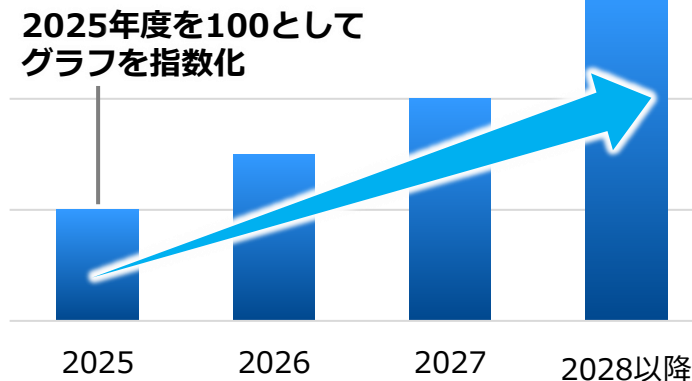
【事業環境と当社対応】

- ◆生成AIの拡大によるデータトラフィック量増加に伴い、光アイソレータ搭載の光トランシーバーの需要が急拡大
- ◆完成した新工場で生産設備を増強して対応

データコムトランシーバー
市場見通し（当社予想）



ファラデーローテータ
生産能力の増強（イメージ）

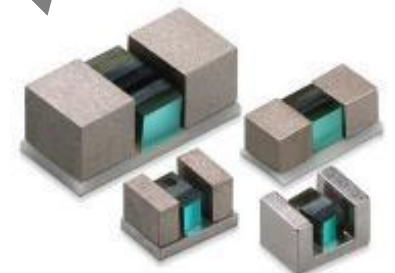


ファラデーローテータ



光を一方方向のみ透過させる
光アイソレータ等を使用され、
光通信社会に不可欠な材料

光アイソレータ



受け継がれる「住友の事業精神」

当社事業の創業以来引き継がれてきた事業精神

[第1条] わが住友の営業は**信用を重んじ、確実を旨とし、**
もってその鞏固隆盛を期すべし

[第2条] わが住友の営業は**時勢の変遷理財の得失を計り、**
弛張興廃することあるべしといえども、
いやしくも浮利に趨り軽進すべからず

(昭和3年 住友合資会社社則「営業の要旨」より抜粋)

別子銅山から受け継がれるサステナビリティ活動



「写真提供：住友史料館」

明治時代、植林前の別子銅山



「写真提供：住友林業株式会社」

現在の別子銅山

このまま別子の山を荒蕪するにまかしておくことは、天地の大道に背くのである。
どうにかして濫伐のあとを償ひ、別子全山をあをあをとした姿にして、之を大自然にかへさねばならない。

—伊庭貞剛（第二代住友総理事）

2030年のありたい姿

「2030年のありたい姿」に沿って社会の持続的発展に貢献する経営課題に取り組み、事業の持続的な成長と企業価値の向上を実現

重要課題	2030年のありたい姿
非鉄金属の安定供給と サーキュラーエコノミーへの貢献	高い技術力で非鉄金属資源を安定的に供給し、 サーキュラーエコノミーの構築と維持に貢献する企業
カーボンニュートラル社会への貢献	カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガス排出量削減とともに 低炭素貢献技術の開発に積極的に取り組む企業
地球環境保全	ネイチャーポジティブな未来へ貢献する企業
人的資本経営	多様な人材が集い、成長し活躍できる企業
地域社会との共存共栄	信頼され続けるパートナーとして、地域とともに成長する企業
サプライチェーンマネジメント	持続可能なサプライチェーンを構築している企業

I

会社概要

II

非鉄金属について

III

ビジネスモデル・強み

IV

中長期の成長戦略

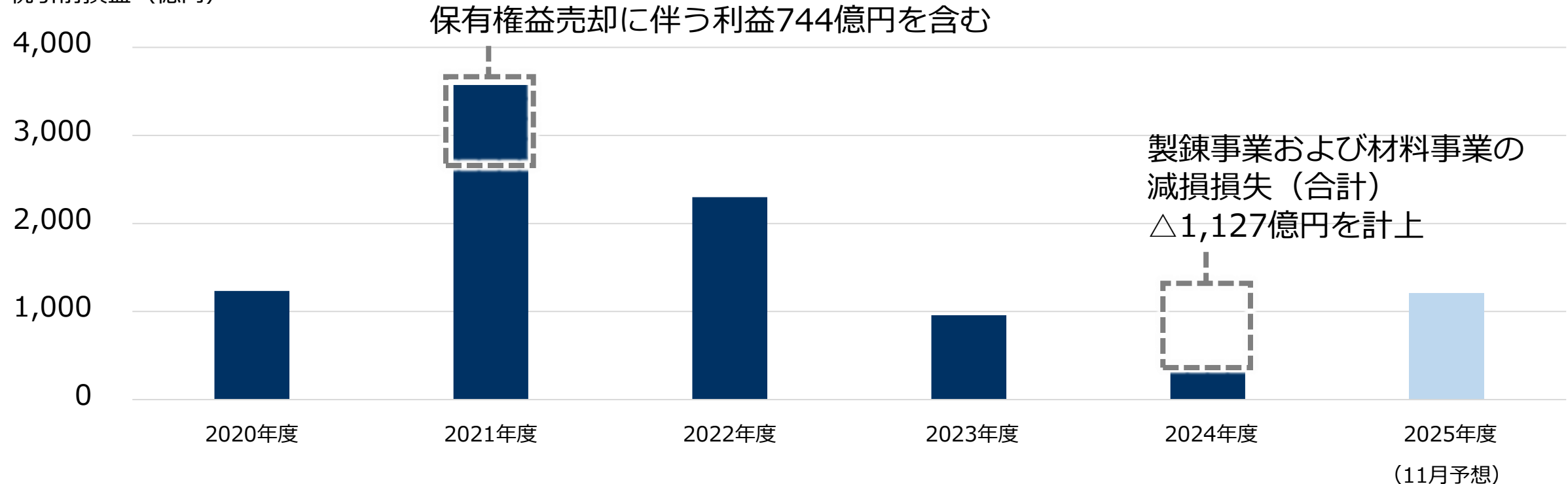
V

業績・株主還元

当社業績（税引前損益）の推移

- 非鉄金属の価格はLMEに代表される取引市場で決まるため、非鉄金属事業の損益は市場環境に大きく左右される
- 2025年度は、ケブラダ・ブランカ銅鉱山やコテ金鉱山の稼働により、銅価格、金価格の上昇の恩恵を大きく享受

税引前損益（億円）



中計27 株主還元

配当方針

- 「剰余金の配当は、原則連結配当性向35%以上とし、下限指標はDOE2.5%とする」

自己株式の取得

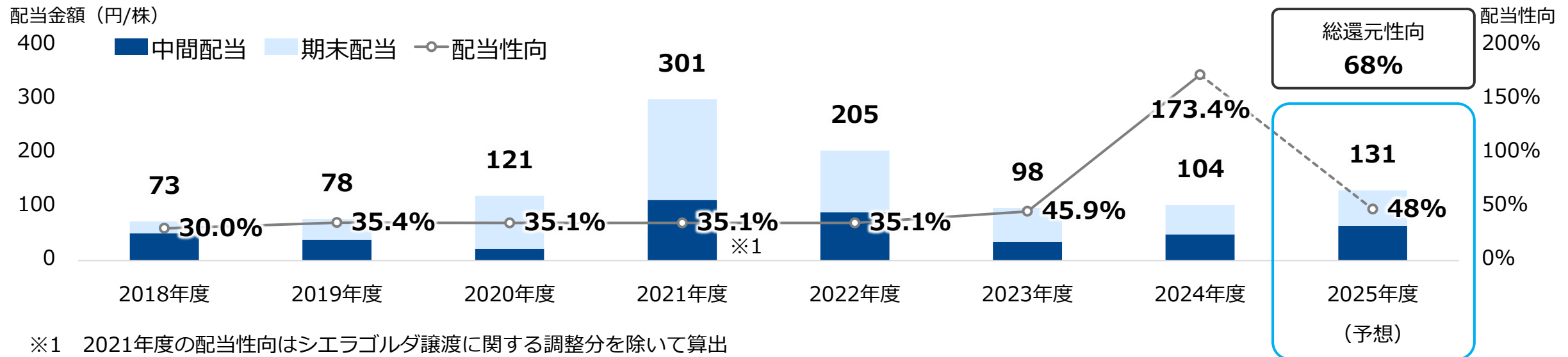
- 中計27期間を通じて、機動的に自己株式の取得を実施

2025年度 1株当たり年間配当予想

連結配当性向35%よりも、DOE2.5%の方が大きくなる見込み

自己株式取得実績

150億円（2025年5月13日～8月26日）



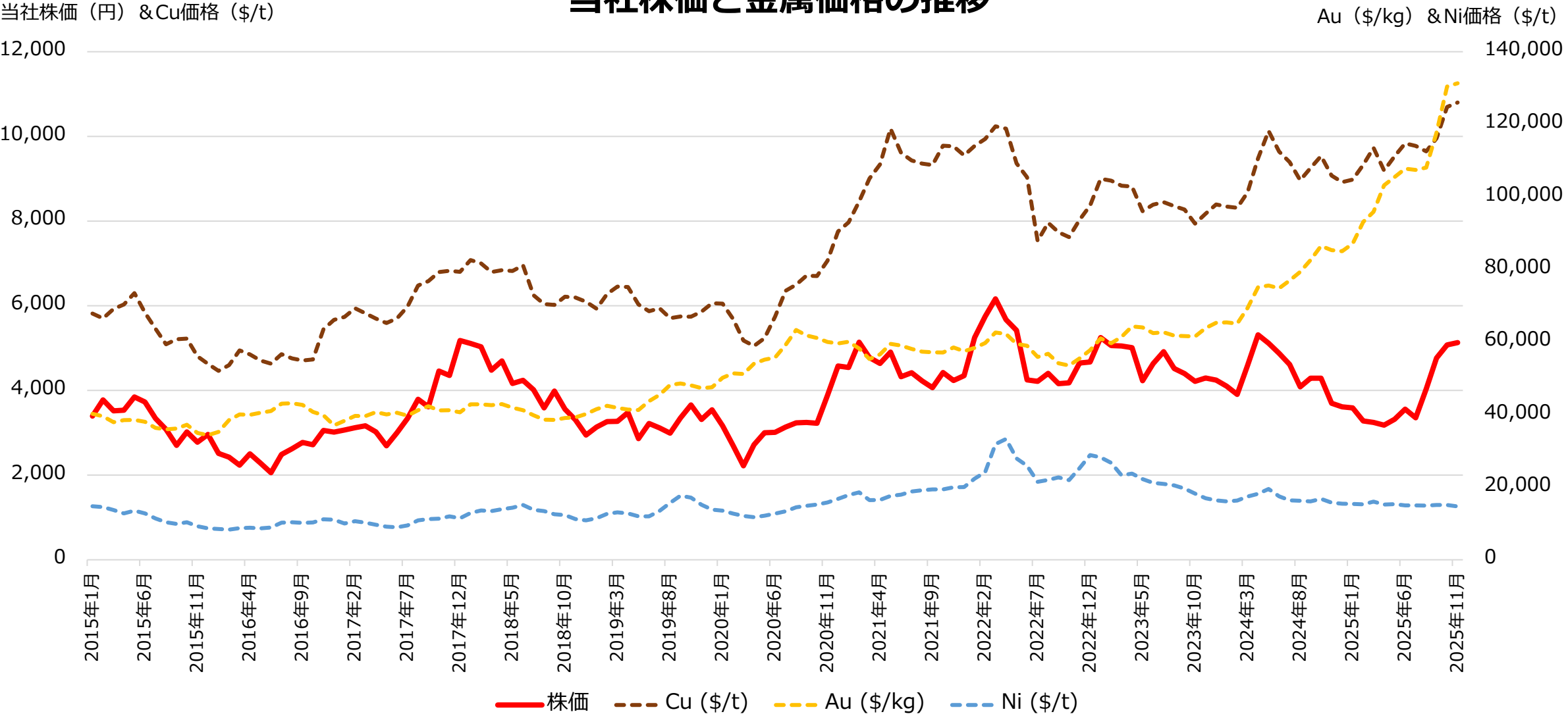
当社の業績に円安と金属価格の上昇はプラス効果

(億円)

要素	変動幅	2025年度 税引前利益
銅（Cu）	±100\$/t	33
ニッケル（Ni）	±10 ¢ /lb	14
金（Au）	±10\$/toz	3
為替レート（円／\$）	±1円/\$	14

（注） 円/\$ は国内の金属加工収入および海外換算為替差の合計
在庫評価影響は含まず

当社株価と金属価格の推移



決算日	3月31日
定時株主総会	6月
上場証券取引所	東京（東証プライム）
業種	非鉄金属
証券コード	5713
株式売買単位	100株
株式の状況	発行可能株式総数：500,000,000株 発行済株式の総数：290,814,015株

株価	5,127円/株
時価総額	1兆4,910億円
配当利回り	2.56%
PBR 株価純資産倍率	0.77倍
PER 株価収益率	18.86倍

※2025年12月1日時点

住友金属鉱山を知る 5つのキーワード

1

430年以上の歴史

住友グループの源流事業を
受け継ぐ会社

2

非鉄金属は 日常生活と経済発展に 必要不可欠

3

資源 × 製錬 × 材料 シン・3事業連携

製錬事業を軸に、3事業が連携して持続可能なサプライチェーンを構築し、
サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラル社会の実現に貢献

4

「世界の非鉄リーダー」 を目指す

当社グループの成長だけでなく、
社会の発展や人々の暮らしに貢献

5

配当性向原則35%以上 下限はDOE2.5%

健全な財務体質を維持しつつ、
株主還元を強化・充実

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

住友金属鉱山株式会社



MINING THE FUTURE

【ウェブサイト 個人投資家のみなさまへ】

<https://www.smm.co.jp/ir/investor/>



ニュースメールで情報発信中。
是非ご登録ください。

【お問合せ先】

広報IR部：03-3436-7705

ウェブサイトお問合せフォーム：<https://www.smm.co.jp/contact/>